

清水高原(きよみずこうげん)歳時記(長野県道完走編)

≪長野県山形村≫(やまがたむら)

第10集

(長野県道1号線~508号線)

NO.64 あつあつの「はいころがしおやき」を食べました

(長野県道276号走破)(長野県道275号走破)

NO.65 梅の花見に行き、ろうかく荘でジンギスカン

(長野県道475号走破)

NO.66 白馬ジャンプ会場から長野オリンピック選手村

(長野県道31号走破)(長野県道33号走破)

NO.67 天竜川左岸辰野町から飯田市(県道19号線編⇒伊那市)

(長野県道19号走破)(長野県道206号走破)(長野県道442号走破)

NO.68 天竜川左岸辰野町から飯田市(伊那市⇒飯島町・県道18号線編)

(長野県道200号走破)(長野県道213号走破)(長野県道488号走破)

NO.69 天竜川左岸辰野町から飯田市(中川村⇒飯田市・県道18号線編)

(長野県道18号走破)(長野県道217号走破)

NO.70 筑摩野・篠ノ井線より東側の県道紹介

(長野県道287・288・289・290号走破)(長野県道301号走破)

あつあつの「はいころがしおやき」を食べました

澤田 繁 著

(長野県道 275 号走破)(長野県道 276 号走破)

2024.4.2 松本から国道 19 号線を信州新町に向かいました。明科駅を過ぎ、木戸橋を渡らず、木戸の信号を直進すると県道 276 号(下生野明科線)に入る。犀川の右岸を走る道で、川の際を走ったり、集落を走ったりして、生坂村小立野集落にある「乳房イチョウ」を見に県道を外れました。

乳房銀杏は樹齢 800 年程の大イチョウで、イチョウの小枝を煎じて飲めば母乳の出がよくなるとのことで、妊婦さんや出生後の女性が祈願に来るそうです。車から降りて、横にある「乳房銀杏観音堂」でお詣り



をして、県道に戻りました。しばらく走ると、下生野集落があり、そこで国道 19 号線に出た所で県道 276 号線は終了(県道 276 号線走破)。

国道 19 号線を犀川に沿って進み、生坂トンネル南の信号を左折して県道 275 号線に入りました。「生坂トンネル」の開通は、1989 年(平成 1 年)で今から 25 年前の事。それまでは犀川の蛇行に合わせての道(県道 275 号と図の紫色)大回りしていた。県道 275 号に 2019 年に出来た「道の駅いくさかの郷」に寄りました。行列が出来ていたところがあったので、近くに行ってみると、「おやき」出来上がり時間が看板にあったので、おやき店「かあさん家」に並んでみました。数人後でしたが買うことが出来ましたので、車に戻り女房と二人で食べました。はいころがし(灰焼き)おやきは久しぶりの気がします。しっかりした皮は、焼き立てでも噛みがいがあった。長野県の中でも「おやき」の種類はいろいろあるようで、私が初めて食べた

「おやき」は、学生の時(1969 年)松代で、焼き(フライパンに油をひき焼く)おやき?でおいしかった。その後、池田



町で、はいころがしのおやき屋さんがあり、何度も横を通ったが、買って食べるまでにはいかなかった。その後、生坂村の女房の知り合いの灰焼きおやきの「かついえおやき店」に行った事があったので。生坂村にははいころがしおやき（灰焼き）があるのは知っていたが、道の駅で焼き立てが食べられたのは偶然だった。道の駅から、県道 275 号線を旧国道 19 号線を走り、生坂トンネルの北に出て信州新町に向かった。

2020.8.20 県道 275 号線（上生坂信濃松川停車場線）をやまなみ荘横を通り、犀川を渡る。以前右に行き河岸段丘を登って、友人の娘さんの「原井農園」（ナガノパープル・シャインマスカット・巨峰等）にお邪魔した事があり、その時、生坂のぶどうの話は聞いてはいたが、こんな広い丘があつて一面ぶどう畑になっていた事に驚いた。今回は左に曲がり、山道を登る形で池田町に向かう、橋のところは標高 480m で池田町が 600m（当然犀川の上流の高瀬川だから）となっているから登りが多い道と想像できる。橋から 2km 程行く



と、まだ峠でもないが池田町との境に到達する。橋を渡ってからは、昭和 32 年までは陸郷村であったが、生坂村・明科町（現安曇野市）・池田町に分割された。池田町会染（会染村は昭和 30 年池田町に統合された）に入り登りは続き、標高約 700m に四人峠があり、そこからは下りに入りました。平地に出た所から県道 275 号線は、県道 51 号線との交点である一丁目交差点から 600m ほど県道 51 号線と重複して、三差路を左折し、高瀬川に架かる高瀬川大橋を渡ると松川村に入り、国道 147 号線と板取交差点で交わり、400m程国道



道 147 号線と重複して走ると右側に大糸線の信濃松川駅に到達した（県道 275 号走破）。

付録・草尾上野巨峰団地（上空からの写真・ネットより）

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.4.2

梅の花見に行き、ろうかく荘でジンギスカン

澤田 繁 著

(長野県道 475 号走破)

2024.4.2 生坂村山清路を通り、大町市八坂(旧八坂村)に入り、児玉橋を渡り長野市大岡(旧大岡村)に入った、対岸からは信州新町が始まる。

対岸の「さぎり荘」から信州新町「ジンギスカン街道」が始まりました。信州新町ジンギスカンの歴史は古く、昭和5年からめん羊飼育が始まり、乾燥気候が飼育に適していたことから羊を飼う農家が増え続け、昭和20年代後半にはおよそ4000頭もの羊がいました。ジンギスカン料理は、昭和11年に行った料理講習会でそのおいしさを味わった人々が徐々に広がっていき、昭和26年に町観光協会が東屋をたて、信州新町への来客をもてなしたのが評判になり、以降、信州新町の漬け込み肉のジンギスカン料理が広がっていきました。

「さぎり荘」は川口交差点から県道394号線をちょっと行った所にあり、日帰り入浴が出来る温泉が併設されているレストランでサフォークジンギスカンを娘と孫とで楽しんだのは数年前かな?。国道19号線日原地区に「食事処ひはら」があり、火曜定休でお子様にも食べやすい味付けの店だが、食べに行った事はない。「ろうかく荘」は、良くいく店で、今日も食べに行きましたが、数人待っていたので、対岸にある「梅園」に行ってから食べる事にしました。

「梅園」に行くには19号線に戻り、新町交差点を左折し、県道12号線を通り、橋を渡りすぐ左折する。梅園に行く前に12号線を少し走ると、梅の花があちこちに咲いていて、中には梅畑もあった。梅園に戻り、車を止めて満開の梅園の中を歩きました。

「ろうかく荘」のセットは、サフォーク・上ラム・ラムで、今日はサフォークが売り切れのため、上ラム定食(コーヒーも付いている)を頼みました。

テーブルの中央には、七輪が入る所があり、おこした炭が入った七輪をセットしてくれた。その上にジ



ジギスカン鍋がおかれ、秘伝のたれ（フルーツ・野菜がベース）に漬け込まれた肉が来ましたので、早速肉をのせて焼いて食べました。ろうかく荘から 100m 程長野方面にいくと、恐竜が右側に見えるところが「信州新町化石博物館」で一度見学した。「元祖ジギスカン荘」（秘伝のたれ・炭火）・「ルート19ドライブイン」（漬け込み味は辛口）が現れますが、まだ入った事がない、ドライブイン19のそばには、昔大きな駐車場とトイレがあるドライブインがあり、トイレ休憩に良く寄った。又学生の時（1971年）に、友達と長野からマトンジギスカンを食べに1回来た事がありなつかしい。



「焼肉レストランむさしや」は、袋に入ったジギスカン販売で有名な、むさしや食品の直営店で無煙ロースター使用の店で、肉の質と秘伝のたれ・ボリュームもいい事で、結構平日でも待ち時間が多い人気店になっている。車待ちシステムになっていて店前・中には待つ人はいない事を頭に入れて待つ余裕が必要です。

信州新町の県道・国道を走っても、羊はほとんど見かけない。その中、顔と四肢が黒いサフォーク種は高級羊肉とされていますが、特に信州産サフォークは人気があり、時々県内のテレビ番組にも扱われるようになった。ラムとマトンの違いは、ラムは生後1年以内の肉でクセがなく食べやすい、マトンは生後24ヶ月以上たった肉で香りや味が濃厚なのが特徴の肉。

「道の駅信州新町」には、羊肉も販売しているが、季節の野菜（山菜）も店頭で並ぶので、時には買ってくる。又、アップルパイは、季節限定だが、立ち寄る度に買う商品です。このアップルパイ「り



んご里信更」<信更の特産りんごをたっぷり使ったアップルパイで農家のお母さんたちがていねいに手作りしている>で製造されたもので、すごくおいしく

孫たちも気に入っている。今日も買いました。そのあと大町にいき帰宅。

2022.7.26 旧八坂村・美麻村を走り、県道 31 号線で旧中条村まで来ました。さらに進み中条中学校の近くの交差点から県道信州新中条線（県道 475 号線）に入りました。自家用車がやっとすれ違える道幅が多い路線で、オリンピックの時作られた県道 31 号の新線（有料）の下を通過すると山道に入りました。中腹からは耕作地や人家がちらほら、頂上と思われるところの標識（中条→信州新町山上条に入りました）を通過し、少し行くと人家はほとんどない下りの山道になった。人家・たんぼ・畑がまとまった集落が現れ、またしばらく人家はなく、今度は開けた台地があらわれ、人家の間の道路となり、川を渡り県道 36 号線と交わった（県道 475 号走破）。県道 36 号線を少し走ると国道 19 号線に出て松本方面に向かって帰宅した。

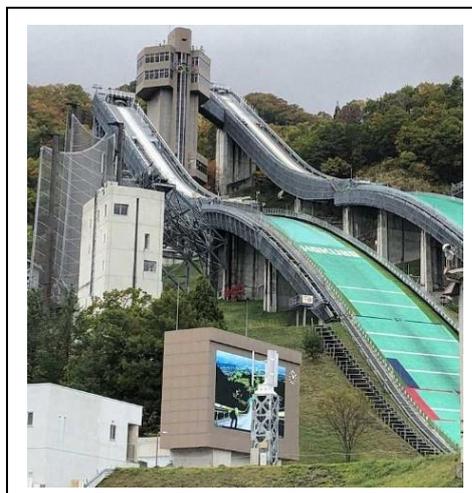


2024.4.2 信州新町道の駅から 19 号線を長野方面に進むと、白馬長野有料道路の入口があり、入るとすぐ料金所があり、普通車¥210 を払った。道の駅中条で「福寿草」を 9 株買いました。家の玄関前に 1 株だけ 10 年以上咲き続けていたのが気になっていたもので、後日近辺に仲間を増やすために植えましたが、良く見ると、小さな株が 3 本生えて来ていました。県道 31 号線(長野大町線)は、従来の道に加えて、有料道路部分も



31 号線となっている。旧中条村と小川村境に従来の道と有料道路との交点があり、少し行くと、「道の駅おがわ」がある。小川村から旧美麻村に入ると、川沿いの道は上流に行くため、谷間が狭くなっていく、青貝の交差点(標高 660m)までは、西に進むならかな登りであったが、この交差点からは、県道 33 号線方面(白馬方面)と大町方面(県道 31 号線)の南北に分かれて、それぞれ峠に向かって登って行く道になる。県道 31 号線は、元中山スキー場があった中山高原(標高 920m 程)を越えて行く道になる。比較的にゆっくり登って行く道で、高原に行く手前に、集落があり、現在はそば家さんが数軒あるようであるが、昔(昭和 40 年前後)は、松本市の高校のスキー教室のメッカであり、かなりの人数が泊まれる民宿群であった。ここから徒歩(結構歩く)でグレンデまでいき、初級者はリフトなしの講習でした。中山スキー場から大町スキー場に名称が変わり、その後 2008 年に閉場しました。高原を抜けると、大町市街まで緩やかな下りで、南借馬交差点(標高 730m)を左に曲がり、1km 行った大黒町交差点(国道 147 号交点)で 31 号線は終点となる(県道 31 号線走破)。

1998 年(平成 10 年)長野オリンピックが行われました。白馬はジャンプ競技会場となり、日本は金 2・銀 1・銅 1 を獲得した、中でもラージヒル団体での優勝はドラマチックであった。選手村と会場との移動時間が 1 時間以内という制約もあり、オリンピック道路して整備された。会場と県道 33 号線までの道の整備(紫色)、県道



33号線となる道は、国道148号と大糸線の立体交差や美麻トンネル工事に合わせ路線を整備した。

2021.1.18 国道148号（標高700m）から33号線に入り、長野方面に国道と大糸線を高架でまたぎ進む、白馬村と、大町市美麻（旧美麻村）の境を越えた所がピーク（約標高800m）でそこから美麻トンネルになる。美麻トンネルは1996年（平成8年）に完成した。トンネルを抜けると、後は下りになり、青貝交差点に到達（県道33号走破）。

県道31号線は、旧美麻村から小川村までは、既存道を整備し、切石トンネルの開通が1996年などオリンピックまでには整備が間に合った。旧中条村に入った所からは、現在の白馬長野有料道路として工事が進み、1995年（平成7年）2月に完成した。

有料道路の先は国道19号線になり、小松原トンネル手前までは、笹平トンネルの新設などを含めて整備工事を行った。笹平トンネルの開通は1997年（平成9年）2月。小松原トンネルからは長野南バイパスとしての新道の建設に着手した。長野南バイパスは、今井駅東のオリンピック選手村を通り、国道18号バイパスの大塚南交差点までの区間であり、1997年12月20日に、暫定2車線で開通した。なんとかオリンピックに間にあったようだ。

2020.6.9 県道31号線の残りを記録します。残りは、県道31号旧道と小松原トンネル西交差点から中御所交差点までの国道19号線となります。小川村から旧中条村に入ったところに標識があり、右折の31号中条と直進の31号長野の表示を見て右に曲がる。中条の集落がはじまり、二つの集落を過ぎると、学校・郵便局がある集落（おそらく旧村の中心）を走り抜けると、下りながら大安寺橋（国道19号）の近くの段丘にある集落に到達、19号線の上を通過し、犀川沿いの旧国道19号線を行くとまた集落があり、さらに行くと笹平トンネル東交差点で国道19号線にでる。

県道31号線は、ここから中御所交差点までは、国道19号線との重複区間となり、七二会・村山集落を通り、小田切ダムによって出来た、ダム湖の横を走る。小松原トンネル西交差点を左折し、小田切ダムの横を通り犀川を渡る。このあたりの山肌は白く石灰岩と思われる。市街地が始まり、安茂里小市地区からは犀川を離れ少し小高いところを走る。安茂里駅の近くを通り、昔からあるマルコメ味噌の社屋を見て、裾花川を渡ってすぐに中御所の交差点に到達した（県道31号走破）。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>



《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.4.23

天竜川左岸を辰野町から飯田市まで(県道19号線編⇒伊那市)

澤田 繁 著

(長野県道19号走破)(長野県道206号走破)(長野県道442号走破)

2020.8.4と2020.10.27辰野駅前から辰野商店街(シャッター街に近い)を通り、本町交差点を左折した。県道19号(伊那辰野停車場線)は、辰野駅から本町交差点までは県道187号線と重複、本町交差点から平出交差点までは県道14号と重複しています。天竜川を渡り、平出交差点を右に曲がると県道19号線単独の道となる。別名「竜東線」と呼ばれており、天竜川左岸を走る。

19号線は、辰野から伊那までの国道153号線に比べ、信号が少なく交通量も少なかったため、40年前から利用している。現在では、センターラインが有りの2車線道路に、ほとんどがなった道で、道沿いには集落と耕作地が現れる。

平出交差点から進むと、中央道の下をくぐり南下し、辰野町から箕輪町に入る。箕輪町に入ればしばらく走ると、宮下交差点に到達する。宮下交差点から、県道19号線のバイパスと思われる道が(後日走って見ました、田んぼの中の整備された道でした)ありましたが、左に曲がり19号線を集落の方に行きました。

箕輪町は、伊那谷の西から東までの町で、ローカルな長野県テレビ番組にも活気のある話題で時々放映される。4月23日には、西側を走る県道203号線の花桃の街道で知られる花街道に行きました、見事「花桃」満開でした。中央には飯田線と国道153号線が走っている。国道153号線は、箕輪町・南箕輪村はほとんど4車線のバイパスが完成している。

2021.10.5伊那インターで降り、伊那周辺を散策し北上し伊那松島駅に到着した。県道206号(南小河内伊那松島停車場線)の起点である駅を出発して松島駅入口交差点で国道153号線(バイパスではない線)と交わり、追分交差点まで国道153号線と重複して走り、交差点を右折して、国道153号線バイパスの下をくぐり、飯田線の踏切を渡って沢地区に入り、天竜川を通過してすぐ宮下交差点についた(県道206号走破)。この日は伊那北インターから帰宅した。

箕輪町東には、近年木の成長とともに、混雑するようになった「もみじ湖の紅葉」がある。2020.8.4と2020.10.27の2回もみじ湖に行きました。県道19号を宮下交差点から伊那方面に400m程行くとわかりづらい三差路があり、そこが県道424号線(諏訪箕輪線)の起点となる。県道424号線を1km程行くと谷間に入り、道も狭くなる箇所がある(結構すれ違い難しい)がセンターラインのある2車線もある。箕輪ダムが右側に見えると、ダム湖であるもみじ湖に到達する。ダム湖に沿って道にはもみじが植えられており、3km程進むと駐車場があ



り、その周辺も見所の場所。さらに進むと駐車場と左に登る道がある場所について、この周辺がメインの場所で、もみじのトンネルの場所も近い。秋に来た時は、色づき始めだったので人は多くはなかった。夏に来た時は、県道442号が目的であったので、さらに進む、道は狭い1車線道路がほとんどだったが、交通量がほとんどなかったので苦労せず通行できた。谷をゆっくり登って行く道で、後山分校跡のある集落を通過し、谷から離れ、山を2・3個越えて有賀峠に到達した（県道442号走破）。



2020.10.27 もみじ湖から戻り、県道19号線を伊那方面に向かいました。箕輪町から伊那市に入り、信号が増えてきました。国道153号線のバイパスが伸びてきており、バイパスの下（福島地域）をくぐり、中央区公民館前交差点過ぎ、中央区交差点で国道361号と交わる。ここから先は県道18号が始まる（県道19号走破）。

バイパスは、伊那バイパスで、箕輪町から伊那市美^み郷^ず青島までで、後は伊駒アルプスロード（計画中）につながる。福島と野底までの1.4kmは、2022年4月に開通したが残り3.1kmは、令和9年までの開通予定。開通した後、「高遠」に行く時に2度程通って高遠までいった。全線開



通ではないせいか、Uターンエリアも設けられていた。

19号線の終点近くにある中央区公民館前交差点を左折（東方面に）すると、昔よく大会に出るために行ったテニスコート14面がある。このエリアは段丘になっており、伊那公園と呼ばれ、野球場も2つある。

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.4.23

天竜川左岸を辰野町から飯田市まで(伊那市⇒飯島町・県道18号線編) 澤田 繁 著
 (長野県道200号走破)(長野県道213号走破)(長野県道488号走破)

2020.10.28 県道19号線から中央区交差点で県道18号線(伊那生田飯田線)に入り、伊那市街地を南下し、竜東橋を渡る。橋の手前には、三峰川に沿って「伊那南環状線・ナイスロード」が走っていて、伊那市東西を行ききする道となっている。又、ナイスロードを高遠方面に行く途中に、「伊那バイパス」と「伊駒アルプスロード」の交差する所となっている。

「伊駒アルプスロード」は美篁青島から駒ヶ根赤穂まで約11kmの国道153号線のバイパスで、リニア新幹線開業に合わせ完成させる予定の線。情報は少ないが、2023年7月には<中心くい打ち>の情報があつた。

三峰川を渡ると、東春近地域に入る。川を渡ってすぐ信号のない三差路に、道なりが19号線で、右折すると県道488号(車屋大久保線)が始まる。19号線は耕作地を通る道になり、バイパス線予定のところあたりで富県地域(標高700m)に入る。ここからなだらかな登りが始まり火山峠(標高860m)の峠越えの2車線道路がつづく。

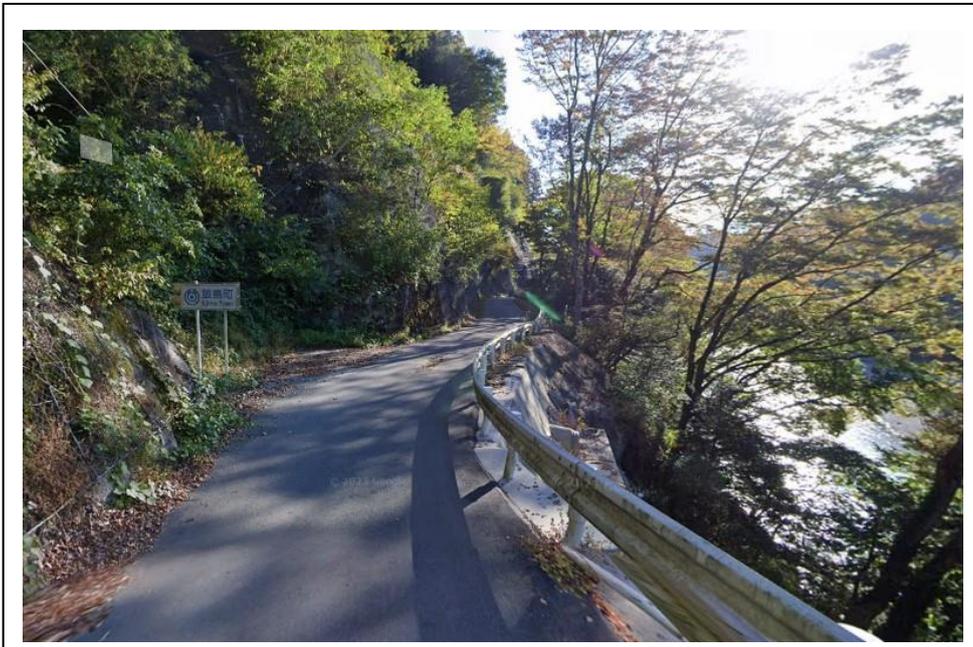
峠を越えると、東伊那地区(駒ヶ根市)に入る。栗林交差点では、県道213号線と交差し、さらに東伊那地区を走ると、次の地区の中沢地区に入る。地区の集落を抜けると天竜川が近づき川に沿った道(人家はない)を南下する。川沿いの道を抜けると天竜川が大きく蛇行する場所の吉瀬集落に到達した。18号線が二つに分かれている場所に出て、とりあえず直進して、吉瀬田切大橋を渡り国道153号との交点の田切中央交差点に着き、横の「道の駅田切の里」で休憩した。

2022.3.15 県道448号と県道213号線走破を記載します。県道19号から県道18号に入り、三峰川を渡り車屋区にある信号のない三差路を右折した。ここが県道448号(車屋大久保線)の起点となる。人家と耕作地の道を進む、下殿島集落までは2車線で整備されているが、そこから先は、ところどころ未整備車線で、さらに天竜川が近くなり、人家なしの川沿いの道になると狭い(すれ違い出来ない)道になる。そのまま川沿いを走り、県道213号と交わり県道448号終了(県道448号走破)。その



まま県道 213 号線を進み栗林交差点で県道 18 号と交わった。栗林交差点は県道 213 号線（栗林宮田停車場線）の起点で、ここから U ターンして県道 213 号線を宮田駅に向かい走った。全線 2 車線の道路で、駒ヶ根市東伊那から宮田村の境は天竜川で「大久保大橋」を渡った。この橋 3 月 12 日に完成した 6 代目の橋だそうで、出来て 3 日目のような感じ。橋を渡ると、大田切川によって出来た段丘を登る。国道 153 号を突っ切り三州街道と交わり、三州街道を走ると、宮田駅に行く交差点があり、左折してしばらく行くと宮田駅の横に出た。駅前が県道 213 号の終点となる（県道 213 号走破）。

休憩の後、戻り 18 号線のもう一つの道を南下したが、工事通行止めのため、又道の駅に戻って、国道 153 号線と県道 200 号を使い、県道 18 号線に戻りました。この工事区間後日走りました、この区間 18 号線の分岐点からしばらくは 2 車線道路だが、川が近くになると、かなり狭い道がつづく、対向車がないことを祈って無事通過した。写真は駒ヶ根市と飯島町の境の県道 18 号線、右下に天竜川が見え、左は山が迫っている。（同じような所があるため・走ってないかも？いや走った！）



県道 200 号と県道 18 号交点は、飯島町日曾利地域と駒ヶ根市中沢との境に近い、県道 18 号線は、日曾利地域（交点）から中川村との境までは 2 車線の道に整備されている。これで伊那から飯島町までの県道 18 号は走りました。

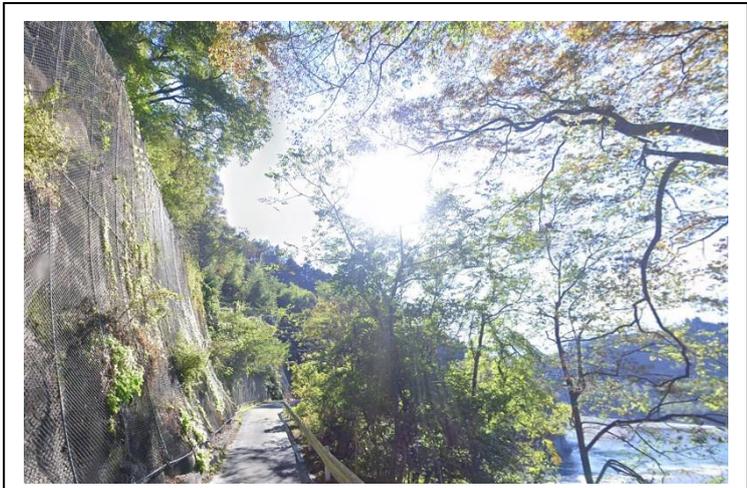


県道 200 号（飯島停車場日曾利線）には、国道 153 号線の飯島駅東交差点より、天竜川に架かる日曾利橋を渡り、飯島町日曾利地区に入り、すぐ県道 200 号の終点である県道 18 号と交わった。飯島駅東交差点から飯島駅には、2020. 8. 24 の日に走っていたので、これで県道 200 号を完走しました（県道 200 号走破）。

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.5.7

天竜川左岸を辰野町から飯田市まで(中川村⇒飯田市・県道18号線編) 澤田 繁 著
(長野県道18号走破)(長野県道217号走破)

2020.10.27 県道18号線も中川村に入りました。天竜川と最接近する場所の一つで、道も1車線の崖の中腹に設けられている箇所を(図の緑色の矢印区間)走りました。飯沼集落に入り、道は狭いままですが、開けた場所に出ました。寺平自動車の横からは道も広くなり始め、県道217号線と交わる手前から2車線道路になりました。中川村を大草から葛島まで走り松川町に入りました。



県道217号線(大草坂戸線)、2020.8.25「かてんばばガーデン」で昼食を食べた後、国道

153号線に出て南下し、中川村に入り、坂戸峡交差点(217号線起点)を左折し、天竜川を渡り県道18号と交わる(217号線終点)、この間約600m(県道217号走破)。県道18号を伊那方面に50m行くと中川村役場に行く道が右側にあり、右折して登るとなだらかな傾斜地になる。この日は、この辺りを散策して大鹿方面に向かった。この日を含めて立ち寄った所は、酒銘柄・今錦の「米澤酒造」では、女房に試飲させ買った。望岳荘には「蜂の博物館」があり、世界最大のハチの巣等が展示されていた。すぐ横の「いろりなかがわ亭」で、赤そばを食べました。



赤そばの花を最初に見たのが、10年以上前の中川村で、「赤そば花まつり」をやっていた。赤そば畑は、片桐地区の飯田線・伊那田島駅のそばにあって、電車と赤そばの花が魅力的な写真となる場所で、当時は人気があった。「赤そば」は、<昭和62年、氏原輝男氏(信州大学名誉教授)が、そばの原産地中国のヒマラヤ標高3800mに咲く赤そばを日本に持ち帰り、タカノ株式会社と共同で品種改良を行い、真紅の花のそば「高嶺ルビー」を開発。長野県内の標

高の高い場所で、栽培されています。>2014年には、山梨県富士川町の^{おおほうし}大法師公園に桜の花見に行った時、赤そばの種を売っていたので、買って来て私の自宅のある長野県山形村「^{きよみず}清水高原」のテニスコートの横に蒔いて夏に花観賞をしました。10月末に種を採ったが、どこかにしまい忘れ1回限りになっています。中川村の赤そば花まつりは10回目の2016年に終了した。現在行われている（まだ訪れた事はない）のが箕輪町上古田金原に「赤そばの里」があり、9月下旬~10月上旬には「赤そば花まつり」が行われる。場所は県道203号線（中央アルプスの山麓を走る）から700m程入った所です。機会あれば行って見たいと思います。

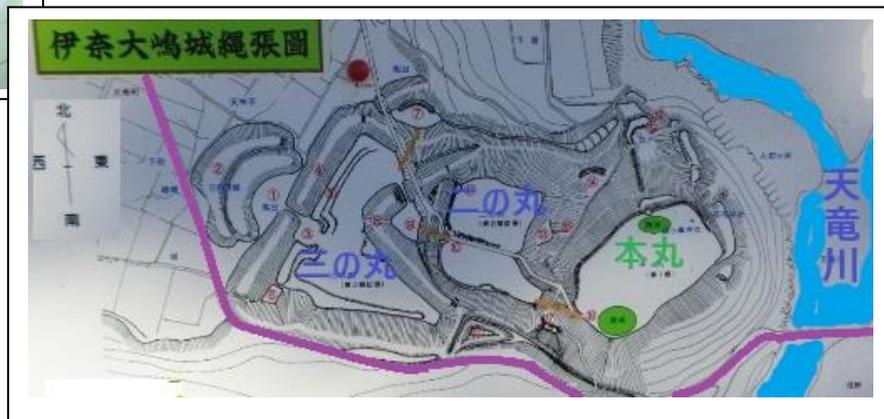
県道218号線（北林飯島線）、2022.1.18 駒ヶ岳スマートインターから伊那中部広域農道に出て、飯田方面に、県道15号線と合流し、しばらく行って「信州里の菓工房」と「道の駅・花の里いいじま」に寄り休憩。さらに400m行くと七久保駅入口交差点に到達、ここから七久保駅まで県道218号線が順延されたようだ。左折し七久保駅まで行く。七久保駅から改めて県道218号線を走る。駅周辺は標高700m前後で、ここから天竜川に向かって緩やかな斜面を標高600mくらいになるまで下って行く。ここまでは耕作地がつづくが、天竜川に降りる所は急な傾斜になっていた。降りた所が片桐地区で国道153号線が通っている、中川村片桐交差点から200m飯田よりの交差点で国道153号線と交わり、250m程国道153号と重複して走り、中川村田島交差点を左折すると、県道218号単独になり天竜川に向かう、天の中川橋（標高470m）を渡り葛島地区に入り、緩やかな傾斜を登り県道18号線と交わった（県道218号走破）。



松川町に入る手前は、南アルプス（小渋川）と中央アルプス（片桐松川）からの川が入り込んでいる。県道18号は、松川インターから大鹿村へ向かう県道59号線と交わり、一旦、59号線と重複している部分（約1km）を松川インター方面に向かう、天竜川を渡り松川町・元大島地区に入る。片桐松川を渡ってすぐ県道59号と分岐し、天竜川を渡り、松川町・生田地区に到達。そのまま天竜川の左岸を走り、豊丘村に入りました。

豊丘村に入ってすぐの天竜川の対岸（きりたった崖）の上に「大島城跡」があり、2022.1.18には、行って見ました。豊丘村はから喬木村までの間は、天竜川の対岸が「市田柿」で知られる高森町には県道18号線は走っていないくて、県道18号線は左岸の豊丘村のみを走る。豊丘村は昭和30年に河野村と^{くましろ}神稲村の合併でできた村で、農産物が豊富、特にタケノコ狩りやまつたけの販売

等が県内ニュースになる。県道18号線のバイパス（？）の道も出来ており、その道の途中に「道の駅南信州とよおかマルシェ」が新設されている。バイパスと県道18号線は豊丘村から喬木村に入る。



《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.5.10

筑摩野・篠ノ井線より東側の県道を紹介

澤田 繁 著

(長野県道 287・288・289・290 号走破)(長野県道 301 号走破)

<南松本駅>県道 289 号(寺村南松本停車場線)は、**南松本駅**を出て、踏切を渡る。この踏切貨物のターミナル駅のため運が悪いとかなり待つ、旧国道の県道 295 号線と交わり、寿橋西交差点までは重複している。田川を渡り竹淵交差点を左側に、白川交差点で県道 287 号線と内田交差点まで重複している。内田交差点から 500m 程行った三差路が終点の松本市大字内田字**寺村**である。この沿線には、私達が月に一度は行く「アルプ」(中学の同級生がオーナーシェフ)があり、店内には胡蝶蘭がいっぱい、良く食べるのは、私がカツカレーで女房がナポリタンで「ナポリタン」は昔から変わらない味で女房お気に入りの一品、また手切りのキャベツは格別。

<村井駅>県道 287 号(町村白川村井停車場線)は、**村井駅**を出て、東に進むと国道 19 号線と交わり、田川を渡り寿小赤の交差点を右に曲がり 1km 程行った交差点を左折し緩やかな登りを内田交差点まで行って県道 289 号と交わり**白川**交差点まで重複している。内田交差点をそのまま真っすぐ行くと、こうやまきと枝垂れ桜がある「常楽寺」があり、さらに「崖の湯温泉」、その上「高ボッチ」まで行ける。重複区間の左に「馬場家住宅」があり、入館しないで広い周りをぐるっと回りました。白川交差点から東に進み半伏寺川を渡ると、少し急な登りになる、中山小学校南交差点で、県道 63 号と交わり終点となる。**町村**の地名は探せなかった。

<広丘駅>県道 290 号(南原広丘停車場線)。広丘駅は、2008 年に新駅舎および東西自由通路が完成した。その前の出入り口は西側だけで、県道はその西口の**広丘駅**を出て、北に行きす



る。その前の出入り口は西側だけで、県道はその西口の**広丘駅**を出て、北に行きす

ぐに踏切を渡る。国道 19 号線を通過し東に進む、野村橋西交差点で県道 288 号線と交わり 200m 程重複し君石交差点で分岐し、緩やかな登りになり、南内田交差点（南原）で県道 63 号と交わり終点となる。

<塩尻駅> 県道 301 号（塩尻停車場線）は、**塩尻駅**を出て南に進む、塩尻駅入口交差点を左折して東に進む、大門八番町の交差点で県道 288 号線と交わる。角には加藤の鯉屋さんがあり、たまに買う。その隣のセブンイレブンにも良く立ち寄り、コーヒーを駐車場で飲む事が多い。この交差点を右折して 80m のところが 40 年程前の塩尻駅になる。県道 301 号線はさらに東に行き、下大門交差点で国道 153 号と交わって終了となる。塩尻駅は、1982 年（昭和 57 年）5 月に現在の位置に新築移転した。それと共に線路も増設し、中央西線で名古屋から松本に行く場合に、スイッチバック（前後が入れ替わり・走る方向も逆になる）なしで来る事が出来るようになった。中央線が出来た当時は、東海道線の迂回線の意味もあり、東京から名古屋がスイッチバック無で行ける構造になった。

県道 288 号線（新茶屋塩尻線）は、平田東 1 丁目（旧平田字**新茶屋**/寿橋西交差点）から塩尻市大門（大門八番町交差点/県道 301 号交点）まで、あちこち重複している。寿橋西交差点から竹淵交差点までは県道 289 号線と重複しており、竹淵交差点を右に進むと、寿団地があり、昔実家のそばの若松町にあった職業訓練所が、「ポリテクセンター松本」「長野県松本技術専門学校」としてある。その先にバイパスが出来たので、田川沿いに県道 288 号線は移された。旧道として寿小池交差点までは県道として残っている。田川橋交差点で村井駅から来た県道 287 号線と交差し、田川高校横をやっぱり（勘違いで通らないと思っていました）通り、高速道路の下をくぐり、その後は高速道路に沿って野村橋西交差点までいきます。交差点で広丘駅から来た県道 290 号と交わり 250m 重複し、君石交差点で県道 290 号と分岐し南に向かう。宮村交差点で県道 63 号線と交わり日の出町交差点まで重複して走る。宮村交差点からすぐに高速道路の下をくぐる。このあたりまで塩尻宿からの五千石街道が残っており、五千石街道を走ると、ところどころに街道筋の趣があった。ネットを見ると結構史跡が残っているようだ。前に行った「北熊井城跡」も関連しているようだし、東山道の 1 部かも？といったような表現も見られる。国道 20 号線と交錯して、さらに行くと日の出町交差点で国道 153 号線とまじわり、県道 63 号線とは分岐し塩尻市街を走る。コパル（現ニデックプレジジョン）の横を通りみどり町交差点を左折し、大門八番町交差点で終点。



その先にバイパスが出来たので、田川沿いに県道 288 号線は移された。旧道として寿小池交差点までは県道として残っている。田川橋交差点で村井駅から来た県道 287 号線と交差し、田川高校横をやっぱり（勘違いで通らないと思っていました）通り、高速道路の下をくぐり、その後は高速道路に沿って野村橋西交差点までいきます。交差点で広丘駅から来た県道 290 号と交わり 250m 重複し、君石交差点で県道 290 号と分岐し南に向かう。宮村交差点で県道 63 号線と交わり日の出町交差点まで重複して走る。宮村交差点からすぐに高速道路の下をくぐる。このあたりまで塩尻宿からの五千石街道が残っており、五千石街道を走ると、ところどころに街道筋の趣があった。ネットを見ると結構史跡が残っているようだ。前に行った「北熊井城跡」も関連しているようだし、東山道の 1 部かも？といったような表現も見られる。国道 20 号線と交錯して、さらに行くと日の出町交差点で国道 153 号線とまじわり、県道 63 号線とは分岐し塩尻市街を走る。コパル（現ニデックプレジジョン）の横を通りみどり町交差点を左折し、大門八番町交差点で終点。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/aijiki/saijikihome.htm>